

平成28年度事業報告書 (H28.4.1~H29.3.31)

事業名	実施事項	実施時期	実施内容	
相談活動の推進	電話相談等 (内メール70件)	年間 245件	相談員及び支援員の相談対応技能の向上を図りながら、適切に実施した。	
	面接相談	年間 17件	面接相談の相談対応技能の向上に努めながら適切に実施した。	
	専門相談	年間 3件	委嘱した臨床心理士による無料相談を実施した。	
直接的支援活動の推進	付添い支援	年間 41件	被害者等の要請に基づき、相談員、直接支援員等による付添い支援を行い、精神的負担の軽減を図った。(裁判所31件、検察4件、警察2件弁護士1件、その他3件)	
	日常生活への支援に関する教養	年間	直接支援員(相談員並びに支援員等)に対し、被害直後の被害者には、必要性に応じて買い物等の回りの世話等の直接支援を行う場合がありその対応について教養と研修を実施した。	
間接的支援活動の推進	自助グループへの支援	年間 (1月を除く毎月開催)	H24.1.23に結成した被害者遺族同士で支え合う自助グループ「ゆるら」を、1月を除き年間11回開催し、積極的な支援を行った。	
ボランティア支援員の育成・養成	支援員継続研修	年間 計27回	支援員の知識、能力、電話対応、面接技術等の向上に加え、相談員と支援員のメンタルケアを目的とした臨床心理士等による系統的な研修会を開催した。	
	養成講座(9期生)	10月~2月 10日間	養成講座の初回を公開講座として開催、以後被害者支援に関する専門家による講義・ロールプレイ等を実施した。(支援員候補者14名)	
相談体制の充実	専門相談員の委嘱と緊密な連携	年間 委嘱数11人	相談業務の充実を図るため、専門相談員(精神科医3人・臨床心理士6人、産婦人科医1人、弁護士1人)を委嘱し、緊密な連携の下に必要な体制の整備に努めた。	
	代理被害の防止	年間	支援員の代理被害を防止するために、臨床心理士、医師等による研修を実施した。	
広報・宣伝活動	広報・宣伝活動	機関誌発行 年2回	機関誌第26号、第27号を発行し、会員や県民等へ業務内容や活動状況を報告した。	
		広報資料・物品等の作成 年間	クリアファイル(3,000枚)、機関誌2回(3,000部)、ポケットティッシュ(15,000個)、活動PRカード(30,000枚)、事業案内(10,000冊)を作成し、広報啓発活動や各種イベント会場等で配付した。また、新聞広告等を58回掲載して、事業内容等の周知を図った。	
		街頭活動等 年間	ザ・ビッグ甲府長松寺店、イオン甲府昭和店、JR甲府駅、小瀬スポーツ公園、コラーニ文化ホール、警察職員文化展、甲府駅北口通路、南アルプス市若草生涯学習センター等において、延べ41回(243人)で広報活動を実施した。	
	啓発活動	ホームページ、講師派遣等	ホームページを随時更新して情報発信した。各種関係機関や団体等からの要請に応じ、講師の派遣を延べ6回行い、犯罪被害者等の現状及び支援活動の重要性・必要性について理解を深めさせ、その周知を図った。	
		講演会 命の大切さを学ぶ授業 映画上映会 ミニ生命のメッセージ展	年間	犯罪被害者支援週間に京都府の中江美則氏を招き県立図書館で講演を開催したほか、高校生・中学生を対象にした「命の大切さを学ぶ授業」を15回開催し、生徒、学生、保護者等の理解と意識の高揚を図った。(支援週間講演会約160名、命の大切さを学ぶ授業計15回4,442人) 被害者支援の理解と命の大切さを訴えるため「映画ゼロからの風」「ミニ生命のメッセージ展」を3市において開催した。
調査研究活動	研究活動	年間	全国規模、関東・甲信越ブロック規模の犯罪被害者支援に関する研修会、他の関係機関が開催する各種講座・講演会等へ積極的に参加し、被害者支援活動の現状・問題点、支援団体のあり方等について研究した。 (延べ8回 20日間 46人参加)	